

# 福島市役所新しい西棟建設 市民懇談会

---

## 【第2回会議】

と き 令和元年7月31日(水)

ところ 福島市役所東棟4階 庁議室

# 目次

1. 市民懇談会委員からのご意見	3
2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要	10
3. 新たな市民交流施設の複合化（案）	18
4. 新しい西棟における必要駐車台数	29
5. 今後のスケジュール	33

# 1. 市民懇談会委員からのご意見

(第1回 福島市役所新しい西棟建設市民懇談会 平成31年2月26日)

---

## <事業費等について>

- ①今後の人口減少、高齢化の進展を考え、仮事業費70億円を超えない範囲で進めてほしい。
- ②予算ありきの建物ではなく、市民アンケートも十分検討しながら次世代にしっかり託せるものとしていく使命がある。
- ③負の遺産とならないように、将来への見通しを財政的な部分も含め考えなければならない。

## 1. 市民懇談会委員からのご意見

### <市民交流機能について～全体～>

- ①3施設の機能については、各施設の従来の利用者や利用目的にとらわれることなく、誰もがさまざまな目的のために活用できる機能を備えることを望む。
- ②新しい西棟に統合・複合化する各施設は最も必要とする機能を選択し、持続可能な量と質に最適化を図ることが大切。
- ③現状でも市民会館は予約が取りにくい状況にもかかわらず、3施設を集約して混雑が解消するのか。夜間や休日にも利用可能なのか。施設の稼働率だけでは分析できない利用希望が集中する日があるのではないか。
- ④中央学習センター（第一ホールを除く）、市民会館、敬老センターをすべて移行すると2フロア必要になるが、現計画の1階（市民交流機能等）及び2階（執務室等）を転用することで賄える。

## 1. 市民懇談会委員からのご意見

### <市民交流機能について～全体～>

- ⑤建物の大きさには制限があるため計画を抜本的に考え直し、議会機能を1～1.5階に圧縮し、新たな市民交流機能が反映される施設となるよう、その利便性を考え検討すべき。
- ⑥3施設の機能については低層階への設置が必要。また、土日祝日の利用集中が予測されることから、キャパシティ・駐車場・売店等を含めた検討が必要。
- ⑦市民が気軽に利用できる多目的ホール・談話スペース・託児スペース等は市民が最も希望する場である。
- ⑧市民交流スペースには県産材(市産材)の木を使い、市内の木工職人が作ったイスやテーブルを優先に配置する等、自然素材を取り入れた「ふくしま」らしい建物を目指してほしい。
- ⑨現計画にある障がいのある方の働く喫茶コーナーについては再考することになると考える一方、何らかの形で障がいのある方の理解につながる交流スペースの設置を検討してほしい。

## 1. 市民懇談会委員からのご意見

### <市民会館機能について>

- ①集会所を持たない近隣の町内会が利用する場合、料金の減免措置や休日・夜間の利用は可能なのか。
- ②市民会館機能が町内地区から離れてることに対して、町内会の機能が保つために、市民会館跡地に集会所を作ってほしい。

### <敬老センター機能について>

- ①使用料について、弱者救済を原則としながら受益者負担も検討してはどうか。
- ②畳の部屋は必要ない。(足腰が弱っている高齢者が増えているため)
- ③現状において敬老センターに霞投票区があることを考慮する必要がある。
- ④誰でも安全で使いやすいユニバーサルデザインを取り入れた施設にすることは必須。

# 1. 市民懇談会委員からのご意見

## <学習センター機能について>

- ①学習センターの講座事業や文化祭事業を中心に、広く市民に新施設に関心をもってもらい、頻繁に利用する層を増やしていくことで、緊急時には施設職員と一緒にボランティア活動も担ってもらえるような「顔の見える人間関係」が形成されることが期待される。
- ②中央学習センターとの複合化により、生涯教育の基点となり、他に誇るべき内容とすべき。財政への配慮も必要で、受益者負担も考量すべき。
- ③地域の方が気軽に集まり、交流や学習するスペースを望む。子供たちが利用することを想定した、安全な動線を確認してほしい。

# 1. 市民懇談会委員からのご意見

## < 執務室機能について >

- ① 執務室や職員の削減をするため、市民会館機能を廃止し、中央学習センター機能で、敬老センター機能も管理するといった方法も考えられる。
- ② 執務室の西棟移設に伴い、東棟の空きスペースの利用を検討する必要がある。

## < 議会機能について >

- ① 施設の有効活用のため、議会を開催しない期間は、審議会等で議会委員会室等を活用することが望まれる。
- ② 西棟への移設に伴う東棟の議会関連の空きスペースの利用を検討する必要がある。
- ③ 市にとって重要な機能であるため、必要最小限度の規模で上階に設置することを望む。
- ④ 議会を軽視するような、議会機能の安易な改革(現計画の修正)はすべきではない。議員の自覚と誇りをしっかりと培わなければならない。



## 1. 市民懇談会委員からのご意見

### <防災機能について>

- ①防災拠点として、充実したハード面の整備が期待される。避難を想定した受け入れスペース、和室、調理室、簡易シャワールーム等、緊急時に有効に機能させるため平時の機能と市民の関与が重要。
- ②全国各地で自然災害が発生しているので、早期に新しい西棟の建設してほしい。

### <駐車場について>

- ①駐車場確保が大きな課題であるが、公用車、市議会議員駐車場の区分けを十分検討し、市民利用者、災害時等の駐車台数の確保を考慮すべき。
- ②西棟ができることで駐車場敷地が半減、さらに新たな機能が加わることで駐車場が不足すると見込まれる。外に駐車場用地を確保することは困難であり、立体駐車場の建設を西棟建築と同時期に行ってほしい。また、防犯対策についても検討してほしい。

## 2. 3施設(市民会館・敬老センター・中央学習センター)の 再編整備に関する市民アンケート結果 概要

---

### 【調査概要】

有効回収数 513件(回収率:34.2%)

対象者 18歳以上の市民(男女) 1,500名(住民基本台帳より無作為抽出)

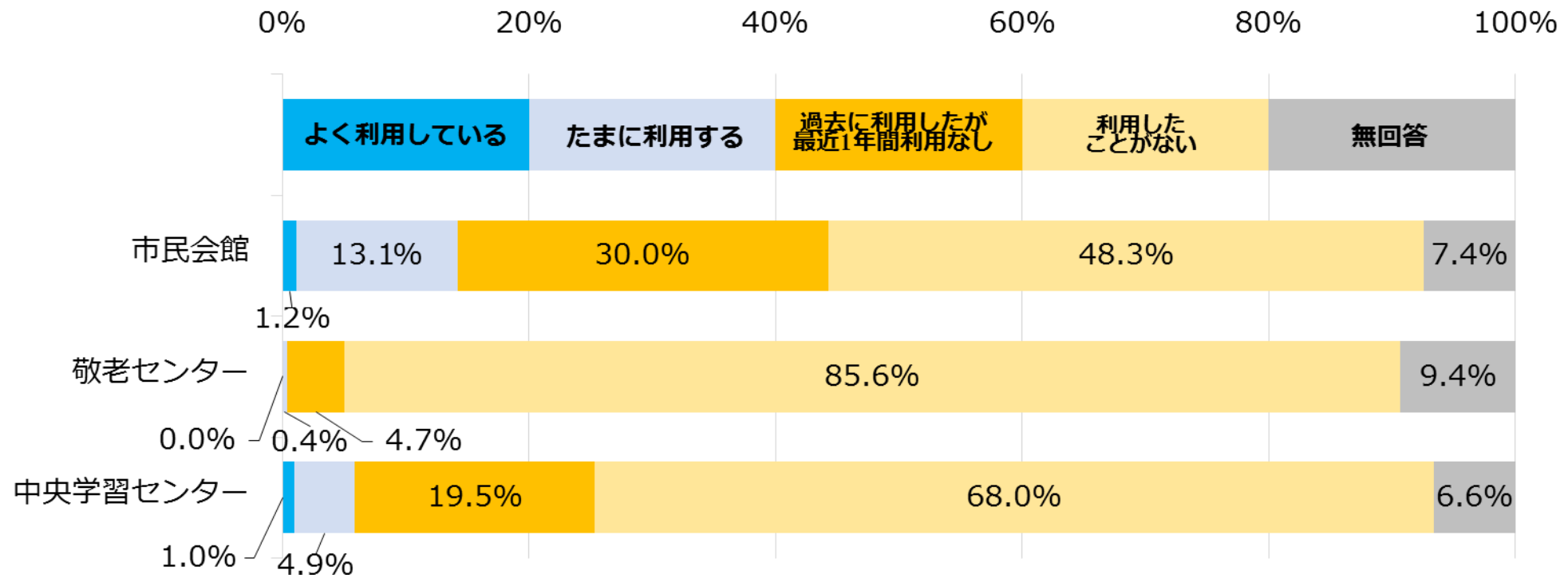
調査期間 平成31年2月22日(金) ~ 平成31年3月18日(月)

調査方法 郵送配布、郵送回収

## 2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要

### 問1-1 施設の利用頻度

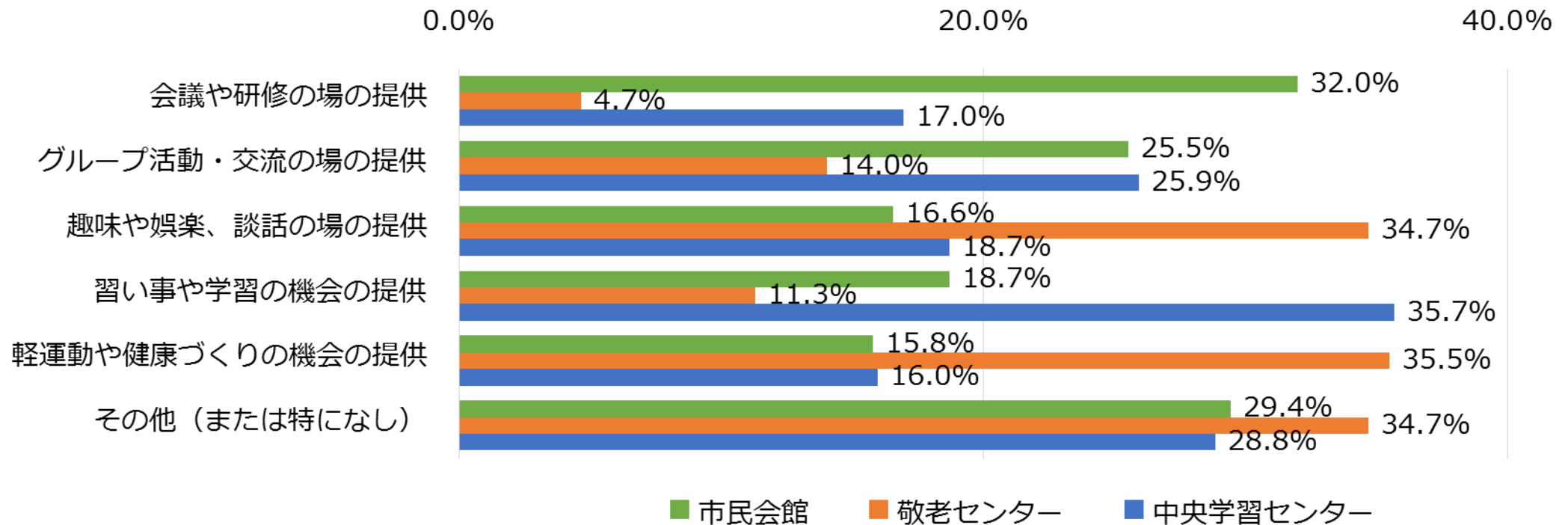
定期的な利用者は、市民会館 14.3% 敬老センター 0.4% 中央学習センター 5.9%  
⇒ 全市的にみると、現状における定期的な利用者は少ない。



## 2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要

### 問6 施設に求める機能・サービス

- ◆市民会館 会議や研修 32.0%
- ◆敬老センター 軽運動や健康づくり 35.5% 趣味や娯楽・談話 34.7%
- ◆中央学習センター 習い事や学習 35.7%

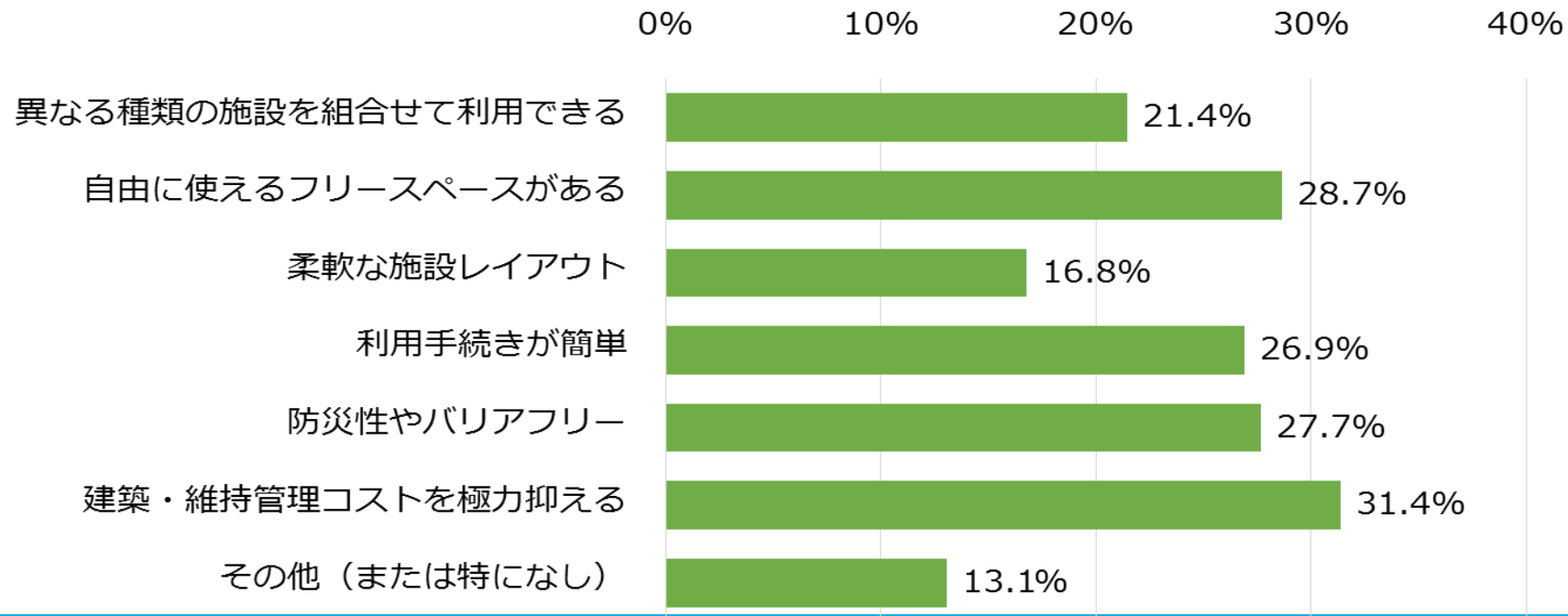


## 2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要

### 問7 複合化でもっとも重視すること

- ① 建築・維持管理コストの抑制 31.4%
- ② フリースペース 28.7%
- ③ 防災性・バリアフリー 27.7%
- ④ 利用手続きが簡単 26.9%
- ⑤ 異なる種類の施設を組合せて利用できる 21.4%

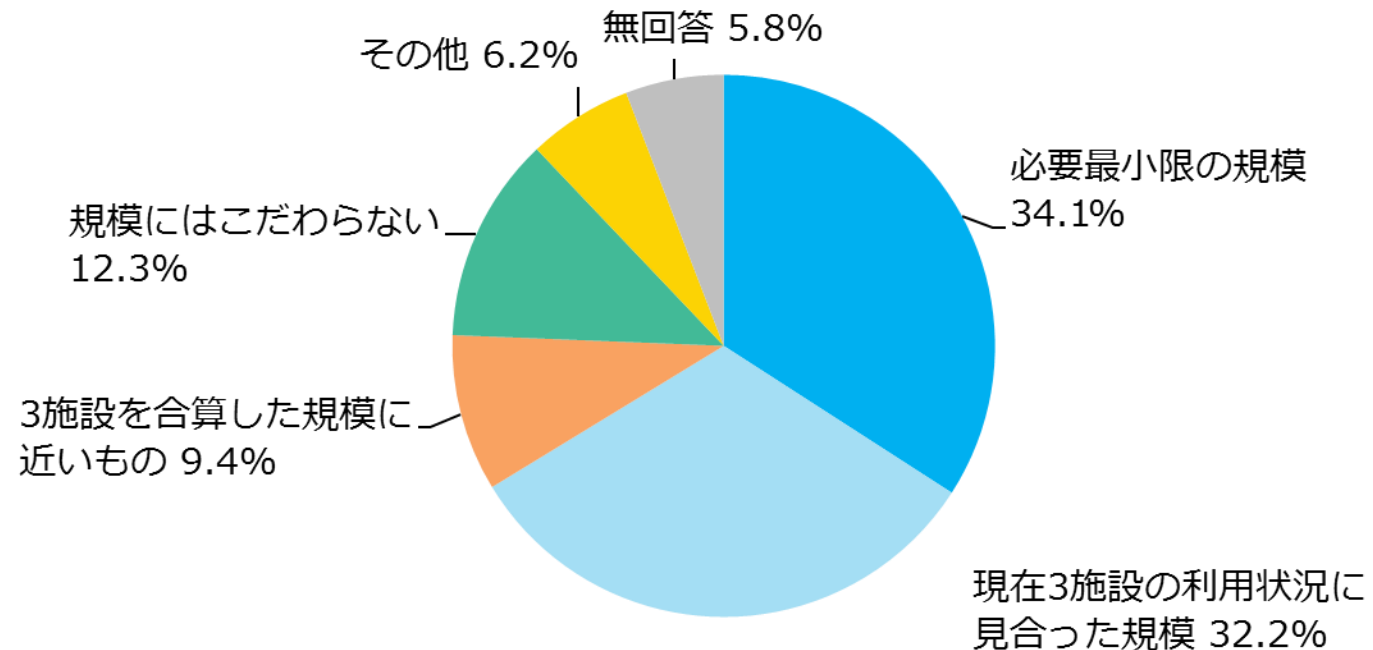
⇒ 上位5項目が20%を超えており、複合化施設に様々なニーズがある。



## 2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要

### 問8 複合整備の規模の考え方

- ① 必要最小限の規模 34.1%    ② 現在の施設の利用状況に見合った規模 32.2%  
⇒ 回答者の7割弱(66.3%)が過剰な施設の整備を望んでいない。



## 2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要

### 問9 複合整備で必要と考える施設機能(部屋)

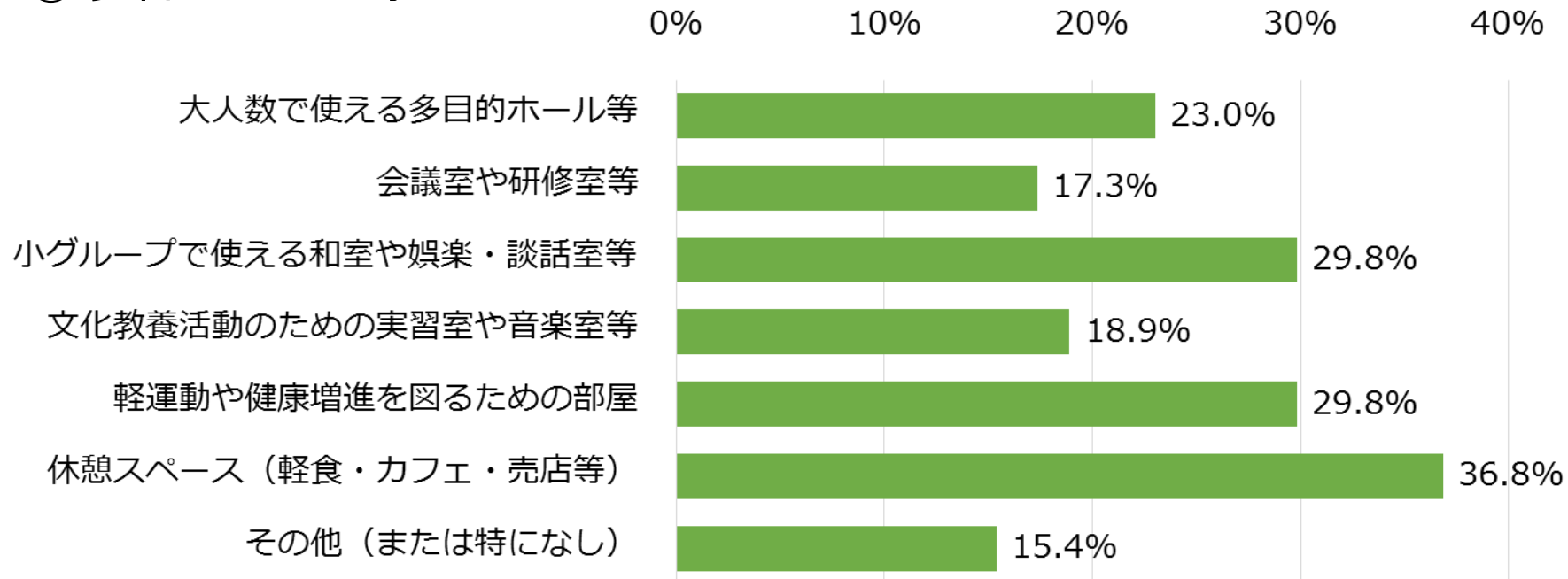
① 休憩スペース(軽食・カフェ・売店等) 36.8%

⇒ 快適に時間を過ごせる環境整備が求められている

② 和室や娯楽・談話室 29.8%

③ 軽運動や健康増進を図るための部屋 29.8%

④ 多目的ホール等 23.0%

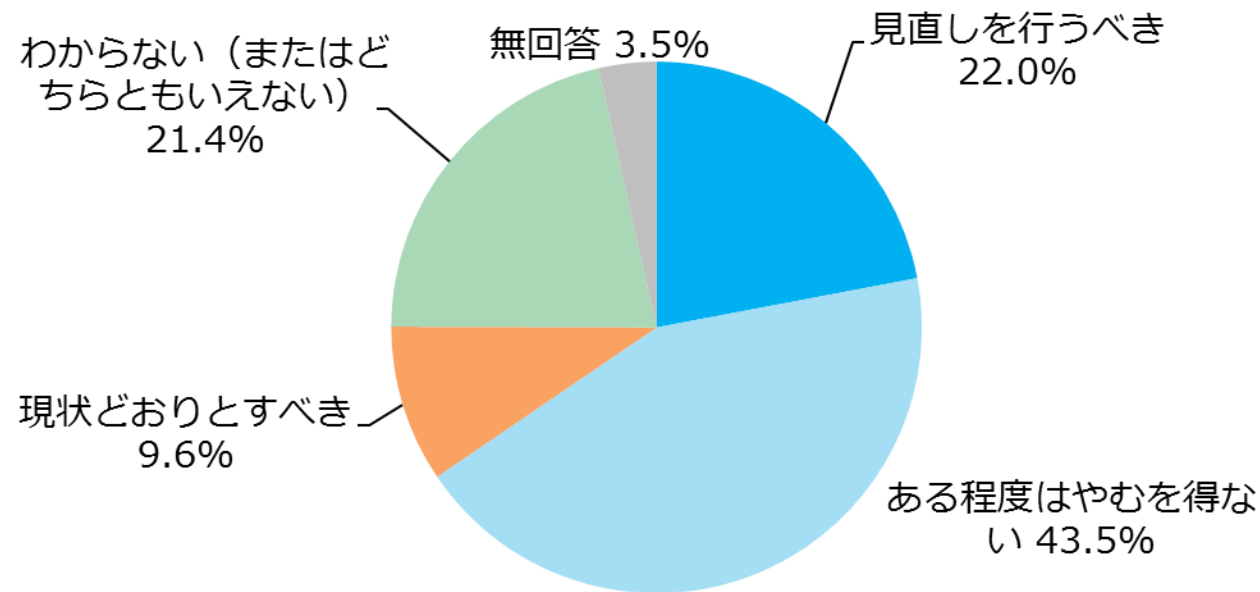


## 2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要

### 問10 複合整備にあたっての使用料の見直し(値上げ)

- ① ある程度はやむを得ない 43.5%      ②見直しを行うべき 22.0%

⇒ 回答者の65.5%が、複合化後の使用料の値上がりについて容認している。





## 2. 3施設の再編整備に関する市民アンケート結果 概要

### 問12 3施設の複合化整備への提案等(自由回答)

---

回答者 224名 (回答者全体の43.6%)

◆駐車場の確保を求める意見	38件	
◆整備後の施設の利用しやすさなどを求める意見	25件	
◆整備後の使用料についての意見	22件	
◆複合整備に賛成する意見	16件	
◆整備コスト・維持管理コストの縮減を求める意見	15件	
◆若年層が利用しやすい施設整備を求める意見	14件	
◆整備する機能等の縮減(廃止)を求める意見	13件	
◆実施事業に関する意見	11件	
◆整備する規模の縮減を求める意見	10件	など

# 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

---

## ◆ はじめに

### 新たな市民交流施設関連の検討スケジュール

① 複合化について

② 複合化に伴う必要駐車台数について

③ 管理運営方法・利用料について

本日の検討内容



⇒ 本年10月頃に、基本計画に係る諸元素案としてまとめる

### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (1) 統合・複合化にあたっての基本的な考え方

- ① 福島市公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえ、複合化にあたっては施設の総量を縮減(施設規模や数を縮小)していく。
- ② 市民アンケート「複合施設の規模の考え方」の結果においても利用状況に応じた必要最小限の規模を望む声が多く、懇談会委員からも同様のご意見があった。
- ③ エリアマネジメントの視点から、近隣に類似機能を持った公共施設がある場合は、稼働率も勘案しながら他施設で代用する。

### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (2) 新しい西棟への取り込み方針

##### 【市民会館】

「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、市民利用会議室機能の一部を新しい西棟へ複合化する。

##### 【敬老センター 及び 中央学習センター】

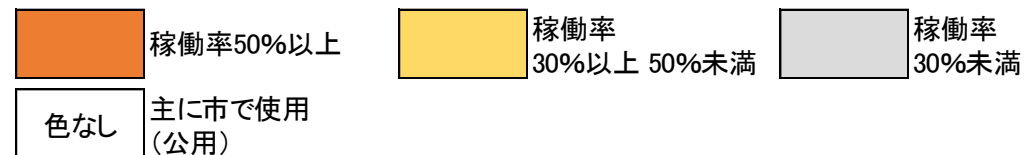
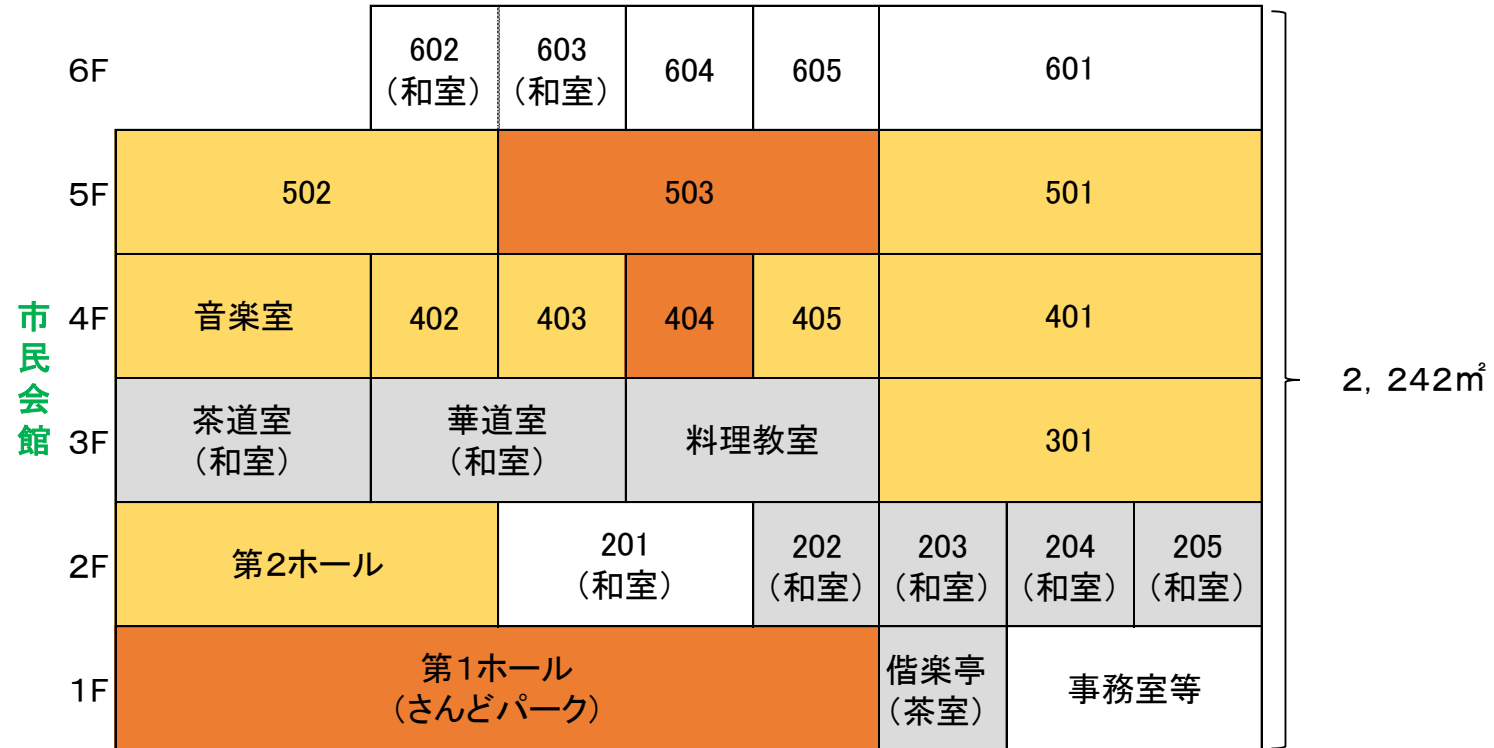
利用状況の共通の尺度となる『稼働率』を基準とするとともに、エリアマネジメントの視点から近隣に類似の機能を持った公共施設がある場合は、稼働率も勘案しながら他施設で代用する。

- |                  |   |                      |
|------------------|---|----------------------|
| ◇稼働率50%以上の部屋     | ⇒ | すべて新しい西棟へ取り込み        |
| ◇稼働率30以上50%未満の部屋 | ⇒ | 機能を絞って取り込み、または他施設で代用 |
| ◇稼働率30%未満の部屋     | ⇒ | 除外、または他施設で代用         |

### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (3) 各施設の利用状況(部屋ごとの稼働率)

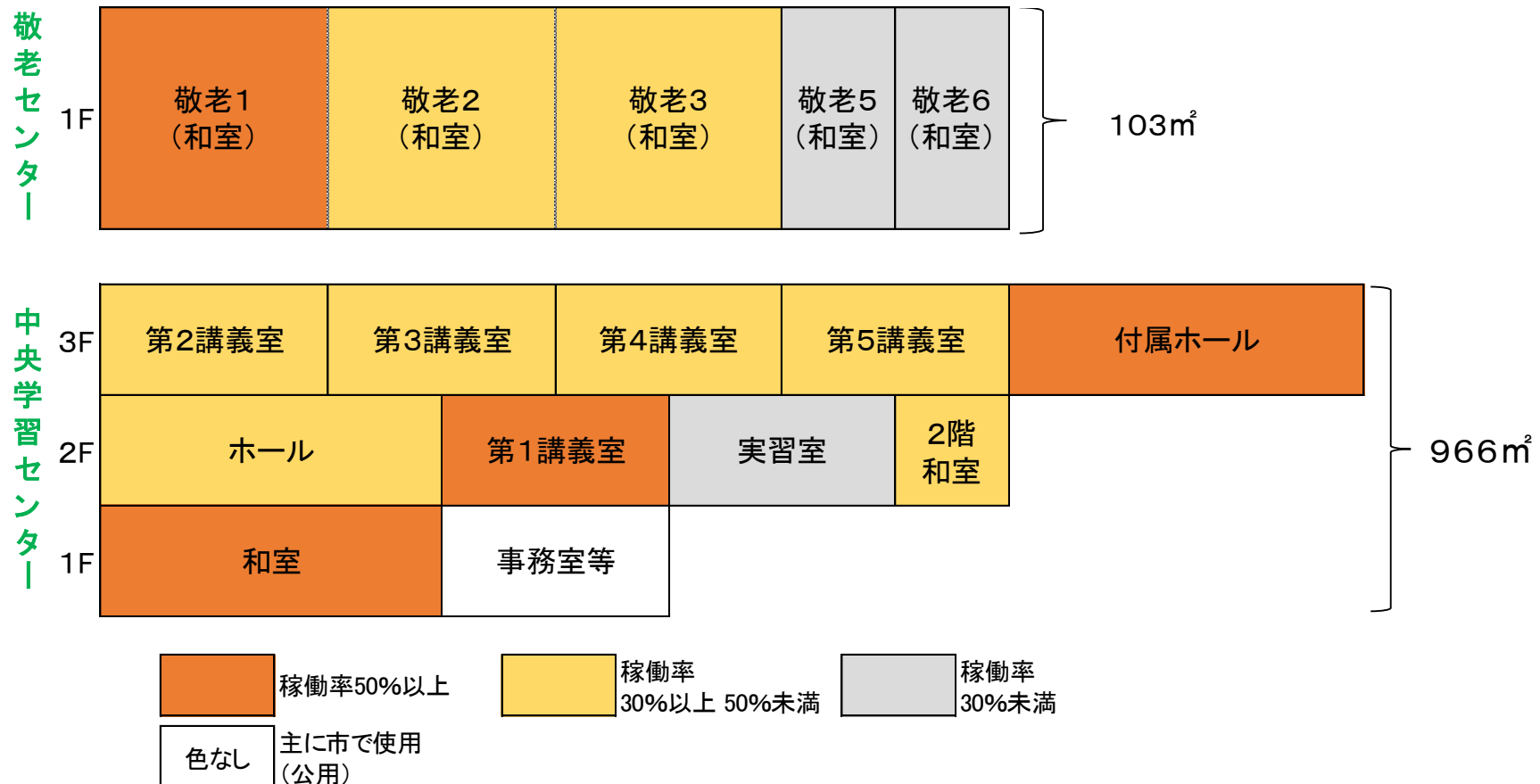
##### ① 市民会館



### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (3) 各施設の利用状況(部屋ごとの稼働率)

##### ② 敬老センター 及び 中央学習センター



### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (4) 新しい西棟への複合化及び他施設での代用

##### 【市民会館】

①「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、市民利用会議室機能の一部(3室)を新しい西棟へ複合化

⇒ 501・502・503を新しい西棟へ

② 主に市で利用している部屋(予算編成作業や統計業務等)は、西棟建設後に配置見直し等により整理する予定の東棟会議室で代用

⇒ 201・601・602・603・604・605を東棟へ

③ 第1ホール・第2ホール及び他の会議室等は、「福島駅前交流・集客拠点施設」へ複合化  
料理教室は、働く婦人の家及びアオウゼで代用

華道室・茶道室・偕楽亭は、草心苑及び御倉邸で代用

※第1ホールに設置されている『さんどパーク』は、「道の駅」へ移設

### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (4) 新しい西棟への複合化及び他施設での代用

##### 【敬老センター】

- ① 稼働率50%以上の部屋については、新しい西棟へ複合化  
⇒ 敬老1を新しい西棟へ
  
- ② 稼働率30%以上50%未満の部屋については、一部を新しい西棟へ複合化  
⇒ 敬老2・3のうち、敬老2のみ新しい西棟へ
  
- ③ 稼働率30%未満の部屋については、除外  
⇒ 敬老5・6を除外



### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (4) 新しい西棟への複合化及び他施設での代用

##### 【中央学習センター】

- ① 稼働率50%以上の部屋については、新しい西棟へ複合化  
⇒ 付属ホール、第1講義室、1階和室を新しい西棟へ
  
- ② 稼働率30%以上50%未満の部屋については、一部を新しい西棟へ複合化  
⇒ 第2・3・4・5講義室のうち、第2・4・5講義室を新しい西棟へ  
⇒ 2階和室及びホールを新しい西棟へ
  
- ③ 稼働率30%未満の部屋については、他施設で代用  
⇒ 実習室を働く婦人の家・アオウゼで代用

※ ただし1・2階和室は敬老センター和室と機能が重複するため、敬老センター分と共用

### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (5) 新しい西棟へ複合化する機能・部屋

市民会館	6F	602 (和室)	603 (和室)	604	605	601		
	5F	502		503		501		
	4F	音楽室	402	403	404	405	401	
	3F	茶道室 (和室)	華道室 (和室)		料理教室		301	
	2F	第2ホール		201 (和室)	202 (和室)	203 (和室)	204 (和室)	205 (和室)
	1F	第1ホール (さんどパーク)			借楽亭 (茶室)	事務室等		

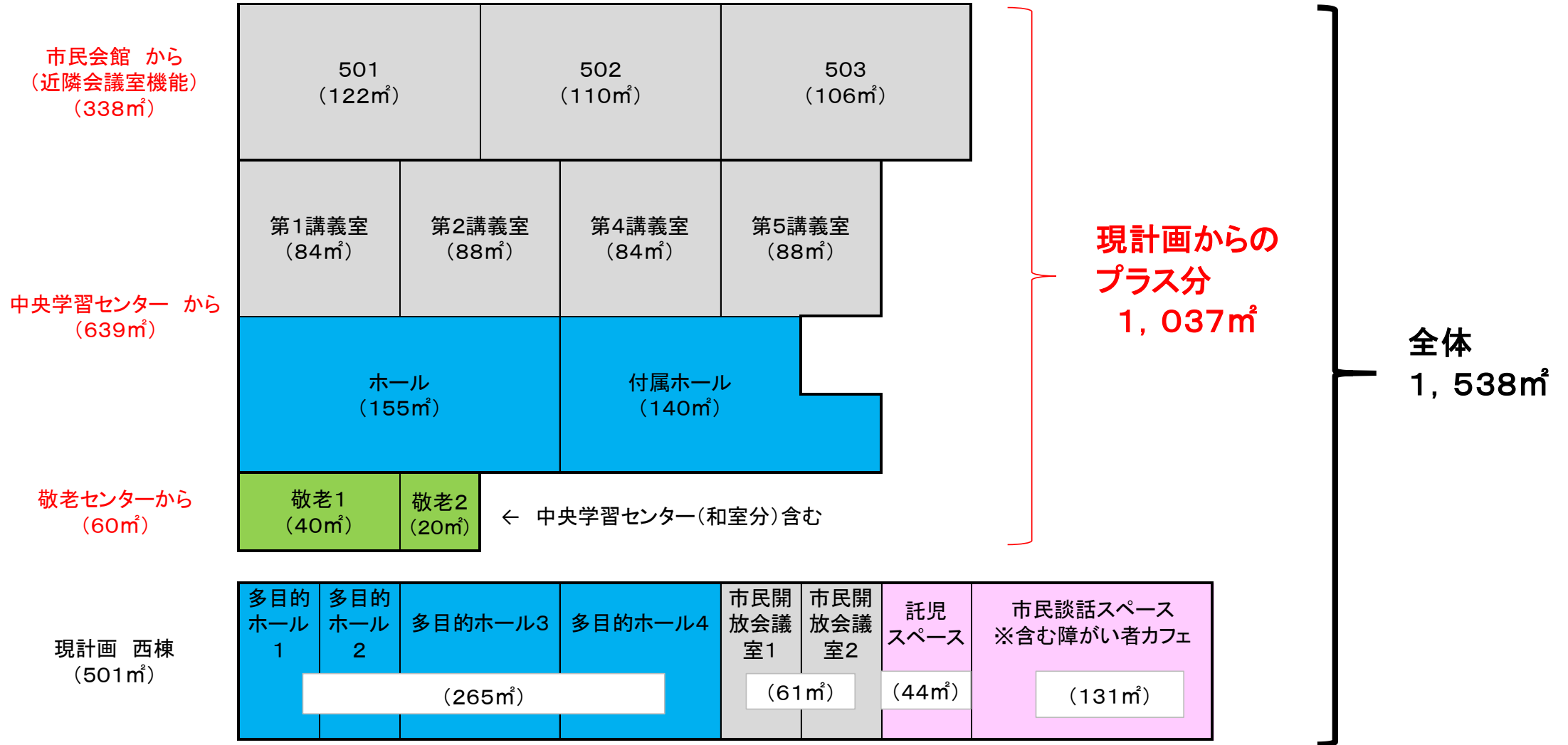
敬老センター	1F	敬老1 (和室)	敬老2 (和室)	敬老3 (和室)	敬老5 (和室)	敬老6 (和室)
	2F	和室		事務室等		

中央学習センター	3F	第2講義室	第3講義室	第4講義室	第5講義室	付属ホール
	2F	ホール		第1講義室	実習室	2階和室
	1F	和室		事務室等		

### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)



#### (6) 新たな市民交流施設のボリューム



### 3. 新たな市民交流施設の複合化(案)

#### (7) 和室・調理実習室及び喫茶コーナーの取り扱いについて

##### ① 和室について

市民アンケートにおいては、「和室や娯楽・談話室等の設置」の要望があるが、敬老センター利用者からは、畳の和室は不要との意見も聞かれる。

⇒ 施設内に和室は設けないが、避難所機能及び乳幼児軽体操事業等への対応として、靴を脱いで上がれる部屋(クッションフロア等を使用)を設置する。

##### ② 調理実習室について

調理実習室の稼働率が、中央学習センター・市民会館ともに極端に低い(5%前後)ことから、実習室は設置せず、働く婦人の家・アオウゼ等の近隣公共施設で代用する。

##### ③ 障がい者が運営する喫茶コーナーについて

現西棟建設計画の当時は、各障がい者団体が構成する運営協議会において運営する方向で検討進めていたが、情勢等の変化により実施が困難となる可能性が高い。

⇒ 代替案について今後協議していく。

※市民アンケートによると、複合化施設に休憩スペース(軽食・カフェ・売店等)を求める声が多く、これらの何らかの機能を設置する必要があると思われる。

## 4. 新しい西棟における必要駐車台数

---

### (1) 現在の来庁者用駐車台数

① 東棟	83 台
② 西棟建設予定地	88 台(西側プレハブより南側の部分のみ)
③ 南側第一(サコービル東)	22 台
④ 南側第二(鈴木法律事務所西)	10 台
⑤ 北側(旧NHK)	93 台
	<hr/>
	296 台

#### 4. 新しい西棟における必要駐車台数

##### (2) 新たな市民交流施設整備後の定員(最大利用者数)

① 501号室(市民会館)	75 人
② 502号室(市民会館)	60 人
③ 503号室(市民会館)	60 人
④ ホール(中央学習C)	80 人
⑤ 第1講義室(中央学習C)	40 人
⑥ 第2講義室(中央学習C)	40 人
⑦ 第4講義室(中央学習C)	40 人
⑧ 第5講義室(中央学習C)	40 人
⑨ 付属ホール(中央学習C)	30 人
⑩ 敬老1(敬老C)	48 人
⑪ 敬老2(敬老C)	24 人
⑫ 多目的ホール1~4	132 人
⑬ 市民開放会議室1・2	20 人
⑭ 市民談話スペース	38 人
⑮ 託児スペース ※託児スペースのみでの利用は想定しない	

西棟現計画の施設

**727 人**

## 4. 新しい西棟における必要駐車台数

### (3) 施設の最大利用者数に対する駐車場利用台数予測

#### ① 新たな市民交流施設利用者の台数予測

$$\begin{array}{ccccccc} 727人 & \times & 40.6\% & \times & 38.5\% & \div & 114台 \\ \text{定員} & & \text{定員に対する} & & \text{来館者における} & & \\ \text{(最大利用者数)} & & \text{平均利用率} & & \text{車の利用率} & & \\ & & \text{(市民会館・中央学C)} & & \text{(市民会館・中央学C)} & & \end{array}$$

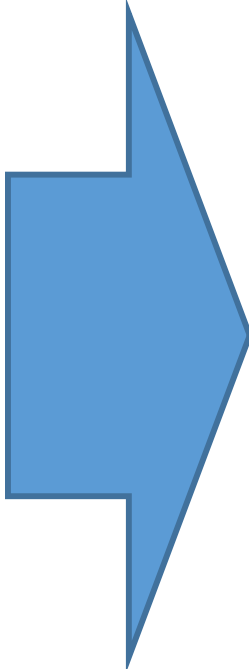
※調査期間中、駐車台数の多かった日(5/9(木)PM、5/15(水)AM・PM、5/17(金)PM)を対象に、部屋ごとの利用者数及び車の駐車台数を調査し、上記の利用率を算出。  
なお、利用形態が特殊な部屋(調理実習室)は、計算より除外。

#### ② 西街区へ整備すべき駐車台数

$$\begin{array}{ccccccc} 114台 & + & 88台 & \div & \underline{\underline{202台}} \\ \text{①の想定利用台数} & & \text{西棟建設予定地の} & & \\ & & \text{現駐車台数} & & \\ & & \text{(来庁者分のみ)} & & \end{array}$$

#### 4. 新しい西棟における必要駐車台数

##### (4) 現状と整備後の駐車台数比較

	【現状】		【整備後】
東棟	83 台		83 台
西棟(西街区)	88 台		<b>202</b> 台
南側第一(サコ一東)	22 台		22 台
南側第二(鈴木法律事務所西)	10 台		10 台
北側(旧NHK)	93 台		93 台
	<hr/> 296 台		<hr/> 410 台



## 5. 今後のスケジュール

---

### ①第3回 福島市役所新しい西棟建設市民懇談会(先進地視察)

i 日 程 8月26日(月)

ii 内 容 秋田市役所視察

### ②第4回 福島市役所新しい西棟建設市民懇談会

i 日 程 10月

ii 内 容 ・先進地視察の振り返り

(予定) ・基本計画に係る諸元素案のまとめ